

令和元年度事業報告

はじめに

現在、いずみ高等支援学校は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月2日から5月31日迄の期間を臨時休業措置としています。このことは、宮城県内の感染者数は減少していますが、関東圏での非常事態宣言継続の状況下、本校一部生徒の出身地に該当のため、十分に安全を確保する必要がある為の措置としてご理解を賜っているところです。そうした中で、令和元年度卒修式の規模を縮小しての開催につきましては、在校生の参加が得られず残念な思いが残りましたが、保護者の参加にて実施できました。しかしながら、新年度のスタートができず、入学式等行事は止む無く中止となりました。

I. 事業概要

本学園は、教育基本法・学校教育法並びに私立学校法に基づいて、「寄付行為」で知的障害女子に学校教育を施すことを目的に「いずみ高等支援学校」の設置運営を位置付け、これまで継承してきました。

令和元年度は、学校創立57年目の令和最初の意義ある年として良き伝統と歴史を育み歩み続け実践してまいりました。私自身も本学園責任者として、これまでのとおり当年度も内外共に活発に行動する継続性を重要と心得、国会、文部科学省、宮城県及び仙台市そして仲間の学校等関係機関に色々な機会を捉え随時訪問し、尚一層の見聞を広め、また本校の宣伝と理解を仰ぐことに努め、更なる成果が上がったことを感じているところであります。私特連活動には例年のとおり、積極的、優先的に参画し行動いたしました。そのような中で、令和2年3月21日に中心的存在であった、「ねむの木学園」理事長・校長の宮城まり子先生が他界されましたことは、誠に残念で惜しまれました。ご冥福をお祈りする次第です。

関係各位のご理解ご支援に改めて感謝を申し上げます。

私立特別支援学校として全国唯一で、女子のみの高等部（本科・専攻科）単置で、教育課程は領域・教科を合わせた指導と家庭科を中心とした編成の、「学習即生活・生活即学習」を目指した教育実践を継続踏襲してきました。

更には、学校教育法第78条に基づき、創立当初から寄宿舎付設で広域的受入れを可能として、学校・寮連携による24時間体制のもと、集団生活を通して自立心と生活力をより高める指導を実践しながら、これらを特色として位置づけ社会全体・保護者の付託に応え理解を得ながら、国会議員や文部科学省へこの意義と効果を提唱し要望活動に取り組み、少しずつではありますが成果を上げることができました。

経営全般について、平成31年度開始時は、基本となる生徒数は101名（前年比5名増）となりました。しかしながら、年度途中の9月末で本科2年生徒1名の転学を許可して、10月より100名丁度の生徒数となり、以後、年度末まで変更はありませんでした。

収入の大きなウェートを占める、運営費の特別支援教育教育費補助金については、国・宮城県共定員数（上限）の令和元年5月1日現在の生徒員数96名分の交付を受けました。生徒1人当たり単価は前年比1.01%増の1,516,391円となり、国と宮城県を合わせ総額291,146千円が算定交付されました。

教職員は、学校と寮を合わせて本務教員24名、非常勤講師7名、本務職員9名、非常勤職員14名の総勢54名でスタートしました。この内、寮本務職員1名が家の都合で4月から休職の後9月末に退職した為、補充1名を行いました。結果、令和元年度末時点では年度当初の教職員数と同じ54名でした。

学校経営は、平成31年度経営案に基づき「学校運営計画」により学校教育・学年目標を設定し、これに基づく一貫性のある教育課程の編成で取り組み、毎月定例の運営委員会に諮り、職員会議をもって協議をして周知徹底を図り共有しながら、学校行事・学習指導や生徒指導及び進路指導等計画のとおりに取り組み、当年度も支障なく進めることができました。特に進路指導の充実を図ることが重要事項と位置付け進路先の開拓や相談・アフターケア等優先しタイムリーな活動を推進し、実績が上がっている様相です。

これまでのとおり、引続き生徒等の生命と安全を優先して、学校環境の安心安全を確立するために不審者防止・防災危機管理に向け、学校・寮の指導体制・訓練や環境整備の一層の充実を推進しています。

学校の施設設備面におきましては、体育館のみ、冷房設備はありませんでしたので、ガス空調設備を増設して暖冷房完備といたしました。更に学校校舎西北面外壁塗装修繕や暖房用ボイラーの送風機モーター交換等、経年劣化した部分の整備をいたしました。

明和寮におきましては、かつての水漏れ事故以来懸案であった温水暖房設備の取替工事が完了しました。他に、経年劣化部分の各箇所の修繕と改善措置を施して住みやすく過ごしやすい生活の場を確保することに配慮してきました。

働き方改革を逐次導入した年度でもありました。少しずつではありますが、行事・業務内容の見直しや標準化できる仕事の確認等を進めています。教職員にとって安定した職場作りを推進することが、結果として、大切な生徒とその教育現場を整えることに繋がると理解しています。

人件費について、昨年度同様に本務者については、現行給料表に基づく昇給完全実施と期末手当を年間4.8箇月分支給と非常勤者には、単価引き上げと期末手当2.5箇月分支給の実績となりました。常に献身的に生徒に寄り添って、取り組む教職員の勤務姿勢に応え、更なる士気高揚に効果があったと捉えています。

以上が平成31年度当初から令和元年度末までの主な事業概要実績の報告であります。

II. 法人の活動状況

1 会議等の概要

(1) 理事会…定数6名

開催月日	開催場所	出席	委任状	欠席	主たる議事内容結果
31. 4. 1	学校図書室	5	1	0	【臨時理事会】 1. 理事長の選任について ＜原案のとおり承認＞
1. 5. 22	学校図書室	5	1	0	1. 平成30年度事業並びに学校会計収支決算について（報告） 2. 監査報告 ＜原案のとおり承認＞
2. 3. 24	学校図書室	5	1	0	1. 学校法人明和学園寄附行為の一部改正について 2. いずみ高等支援学校学則の一部改正について 3. 役員及び評議員の報酬規程について 4. 職員の給与について 5. 令和2年度事業計画（案）並びに会計収支予算（案）について ＜原案のとおり承認＞

(2) 評議員会…定数13名

開催月日	開催場所	出席	委任状	欠席	主たる議事内容結果
1. 5. 22	学校図書室	12	1	0	1. 平成30年度事業及び会計収支決算について（報告） ＜原案のとおり承認＞
2. 3. 24	学校図書室	12	1	0	1. 学校法人明和学園寄附行為の一部改正について 2. いずみ高等支援学校学則の一部改正について 3. 役員及び評議員の報酬規程について 4. 職員の給与について 5. 令和2年度事業計画（案）並びに会計収支予算（案）について ＜原案のとおり承認＞

(3) 監事監査等…定数2名

開催月日	開催場所	出席	主たる議事内容結果
31.4.1	学校図書室	2	【臨時理事会陪席】 1. 理事長の選任について
1.5.16	学校図書室	2	1. 平成30年度学校法人業務等に係る監査の実施 ＜監査報告書提出＞
1.5.22	学校図書室	1	【理事会陪席】 1. 平成30年度事業並びに学校会計収支決算について（報告） 2. 監査報告
2.3.24	学校図書室	2	【理事会陪席】 1. 学校法人明和学園寄附行為の一部改正について 2. いずみ高等支援学校学則の一部改正について 3. 役員及び評議員の報酬規程について 4. 職員の給与について 5. 令和2年度事業計画（案）並びに会計収支予算（案）について

2 学校法人に関する報告書等の提出 【宮城県】

事項	報告認可月日	主たる報告書等内容
登記完了報告書	令和元年6月1日	資産総額の変更について（R1.5.31付）
寄附行為変更認可申請	令和2年3月26日申請 （令和2年4月1日改正）	私立学校法改正に伴う変更
学則変更届	令和2年3月26日申請 （令和2年4月1日改正）	寄附行為変更に伴う変更

3 「いずみ高等支援学校」生徒数（令和元年度最終）

課程年 通学別	本 科				専 攻 科			合 計
	1年	2年	3年	小計	1年	2年	小計	
寮 生	7	5	6	18	5	2	7	25
通学生	20	11	23	54	11	10	21	75
合 計	27	16	29	72	16	12	28	100
定 員	72				28			100

4 職員構成（令和元年度最終）

	校 長	教 頭	教 諭	養護教諭	講 師	指 導 員	寄 宿 舎	栄 養 士	調 理 員	事 務	業 務 員	計	合 計
本 務	1	1	17	1	4	5		1		3		33	54
非常勤					7	5			7	1	1	21	